

平成 25 年度事務事業評価調書

事業コード	02070508	区	分	<input type="checkbox"/> 実行	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	
事務事業名	ひとり親家庭医療費支給事業	担当部署名	住民課			
		作成責任者職氏名	尾谷 肇	内線	310	
第4次総合計画体系	(基本柱)	(基本施策)	(細施策)			
	02健康・福祉	07子育て支援の推進	05子育て生活環境の整備			
実施期間	<input type="checkbox"/> 単年 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (昭和46年度～ 年度)		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助等		
根拠法令等	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	法令等の名称	ひとり親家庭医療費の助成に関する条例	義務付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	

I 事務事業の概要<Plan>

(1)事務事業の目的及び内容	(2)対象(誰を対象とするのか)
<p>①目的</p> <p>生活の安定と児童の健全な育成を図る。</p> <p>②内容</p> <p>ひとり親家庭に対し医療費の一部を助成する。</p>	<p>18歳に達する日以後に最初に迎える3月31日までにある「児童と父」「児童と母」「児童と養育者」(所得制限あり)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・父母が婚姻を解消 ・父または母が死亡 ・父または母が一定程度の障害状態 ・父または母の生死が明らかでない ・父または母が引き続き1年以上遺棄 ・父または母が引き続き1年以上拘禁されている ・母が婚姻によらないで懐胎 ・父母が死亡
(3)期待される効果(本事業によって対象者をどのような状態にしたいのか)	(4)事務事業を進める上での課題や問題
<p>医療保険の自己負担相当額の一部を負担することにより、受診を容易にし、健康の保持増進を図り、もって福祉の増進に寄与する。</p>	<p>制度対象の勧奨については、広報紙等の掲載で啓発しているが、対象基準要件の関係で、あくまでも本人申請待ちとなる。</p>

II 事務事業の実施<Do>

(1)事務事業の事業費及びコスト費								
		23 年度 実績	24 年度		25 年度 事業費(見込)	26 年度 事業費(見込)		
			事業費(予算)	実績(見込)				
事業費(見込含む)(千円)(A)		2,730	3,290	2,756	4,011	4,002		
財源内訳	国庫支出金							
	府支出金	1,138	1,645	1,327	1,990	1,990		
	分担金・負担金							
	使用料・手数料							
	起債							
	その他の特財							
	一般財源	1,592	1,645	1,429	2,021	2,012		
人件費	一般職員所要人員(人)(B)	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2		
	一般職員人件費(平均給与×(B))(千円)(C)	1,244	1,244	1,244	1,244	1,244		
総コスト費(千円)(A+C)		3,974	4,534	4,000	5,255	5,246		
人口あたりコスト(円)		645	736	649	853	851		
(2)成果指標等								
番号	指標区分	指標名称	単位	25 年度			26 年度 目標値	27 年度 目標値
				目標値	実績値	達成率(%)		
①	目標指標							
②	目標指標							
③	目標指標							

○目標指標評価値(達成率平均値) 0% / 0 = #DIV/0! (A)

III 事務事業の評価<Check>

(1)成果の自己検証		
評価項目	評価結果	評価の理由及びその考え方
①妥当性 ※施策の目的が村の政策体系に貢献しているか	3 4. 大いに貢献している 3. 概ね貢献している 2. あまり貢献していない 1. 貢献していない	ひとり親家庭医療費助成制度については、親が離婚したり、死亡した子どもの家庭に対して府内の医療機関の受診時の医療費の一部負担分の一部を助成し、受益者負担の軽減を図り、健康の保持及び福祉の増進を図る。
②有効性 ※期待された効果が得られているか	3 4. 効果がある 3. 一応の効果がある 2. あまり効果がない 1. 効果がない	ひとり親家庭医療費の一部負担分の一部を助成することで、受益者負担の軽減を図り、健康の保持及び福祉の増進を図る効果がある。
③効率性 ※効率的に進められているか	3 4. 非常に効率は良い 3. 概ね効率は良い 2. あまり効率は良くない 1. 効率は良くない	府内での医療機関の受診の場合は、一部負担の一部を負担するだけの現物給付
④公平性 ※受益や負担が公平になっているか	3 4. 公平である 3. 概ね公平である 2. 少し偏りがある 1. 公平ではない	助成対象者には全て公平

○事務事業評価値 (①～④の合計/16)	12 / 16	75%	(B)
-------------------------	---------	-----	-----

(2)検証結果			
目標指標評価値 (A)	事務事業評価値 (B)	総合評価値 (A)+(B)/2	評価ランク(改善の目安)
#DIV/0!	75%	#DIV/0!	#DIV/0!
a: 90%以上(現状維持又は拡充) d: 30~49%(休止・廃止又は縮小) b: 70~89%(見直し又は現状維持) e: 30%未満(休止・廃止) c: 50~69%(縮小又は見直し改善)			

IV 事務事業改善の方向性<Action>

(1)改善の方向性	
①改善の方向性(自己評価)	
B	← A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
②改善の方向性の理由、改善する上での具体的な改善策や課題等	
ひとり親家庭に対し、医療費の自己負担相当額の一部を負担金負担することにより、健康の保持増進を図ることができる。助成対象要件や助成内容については、府下統一のため現状維持である。	

V 事務事業評価結果(担当者は記入しないでください。)

(1)政策担当結果	
ひとり親家庭の、健康保持増進のため引き続き実施する必要があると考える。	B A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
(2)第三者による有識者会議結果	
	A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
(3)行政経営戦略会議結果	
ひとり親家庭の、健康保持増進のため引き続き実施する必要があると考える。	B A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止